

## 会 議 録

会 議 名 ( 審 議 会 等 名 )		平成26年度 第5回 川西市社会教育委員の会	
事 務 局 ( 担 当 課 )		教育振興部 社会教育室 (内線 3421)	
開 催 日 時		平成26年11月26日(水) 10時00分～12時00分	
開 催 場 所		市庁舎 202会議室	
出 席 者	委 員	生田議長、安藤副議長、岡田委員、田中委員、廣末委員、 米田委員、岸本委員、西谷委員  計 8名	
	そ の 他		
	事 務 局	牛尾教育長、石田教育振興部長、中塚こども家庭部長、 森下総務調整室長、上中学校教育室長、柳川社会教育室長、 田淵中央図書館長、中定まなび支援室長、山元こども家 庭室長、沼人権推進室長兼人権推進課長、井上社会教育室 主幹、西垣(囑託職員)  計 12名	
傍聴の可否		<input checked="" type="checkbox"/> ・不可・一部不可	傍聴者数 0名
傍聴不可・一部 不可の場合は、 その理由			
会 議 次 第		1. 開会 2. 前回会議録の承認 3. 報告事項 (1)全国社会教育研究大会(徳島大会)の報告について (2)兵庫県社会教育研究大会の報告について (3)阪神北地区社会教育委員協議会第3回理事会の報告 について (4)各協議会の会議報告について (5)その他 4. 議題 (1)第2次川西市生涯学習計画について (2)その他 5. その他	
会議結果		別紙のとおり	

# 審 議 経 過

NO.1

議長	<p>それでは第5回の社会教育委員の会を開会します。出欠について真鍋委員と末澤委員が欠席という連絡が入っています。それと安藤副議長と米田委員、田中委員が遅れるという連絡が入っています。開会にあたり教育委員会並びにこども・家庭部からのご挨拶をお願いします。</p>
教育長	( 挨拶 )
こども家庭部長	( 挨拶 )
議長	<p>それでは、前回の会議録の承認について。</p> <p style="text-align: center;">( 承認 )</p>
議長	<p>次に3の項目、報告事項について、事務局、お願いします。</p>
事務局	<p>(1)「全国社会教育研究大会(徳島大会)」について          日時：平成26年10月23日・24日          会場：アスティとくしま          研究主題『共に支え互いを認め合いながら豊かに生きる社会の創造』</p> <p>&lt;記念講演会&gt;          演題：「自分の舞台の活かし方」          講師：株式会社いんどり 代表取締役社長 横石知二氏</p> <p>&lt;シンポジウム&gt;          テーマ：「防災でつながる地域の絆～学校・家庭・地域の連携ですすめる防災生涯学習～」</p> <p>&lt;分科会&gt;          第1分科会「学校を支える」地域ぐるみで学校支援する方策          第2分科会「家庭を支える」家庭教育力の向上を図る支援のあり方          第3分科会「地域社会を支える」地域の活性化を図る社会教育委員の役割          第4分科会「地域ぐるみで支え合う」防災・減災のまちづくり          第5分科会「集い支え合う」社会教育施設等を核にした地域の絆づくり</p> <p>(2)兵庫県社会教育研究大会          日時：平成26年11月12日          会場：兵庫県民会館          研究主題『豊かな人間関係を育む地域社会の創造にむけた、社会教育の推進』</p> <p>&lt;講演&gt;          演題：「学校・家庭・地域の連携協力が育てるもの」          講師：神戸大学大学院人間発達環境学研究所准教授 齊藤誠一氏</p> <p>&lt;分科会&gt;          第1分科会「スポーツで元気なまちづくり～豊かな市民生活・豊かなまちづくり～」</p>

# 審 議 経 過

NO. 2

	(阪神南：芦屋市)
	第2分科会「公民館で地域をつなぐ～加西市は、なんとって公民館!」(北播磨：加西市)
	第3分科会「文化遺産を活かした地域づくりの取組について」(但馬：朝来市)
議長	私とE委員と事務局の3名で参りました。
E委員	齊藤准教授の話は専門の心理学の分野からのアプローチで地域、学校、家庭の連携を模索するという話を頂いた。地域の人達が関わる様な体制をどのように作るかというのが、どこの地域でも問題になっているが、まず参加してみるという様な形を作って欲しいという事でした。イベントに巻き込めという言葉が印象的でした。分科会は、公民館を中心に地域をつないでいこうという加西市の取組みで、4つ公民館が、それぞれが大きなテーマを掲げてイベント的なものに組みこみ、そこで人と人とがつながっていくそういう様な場を作っておられるという大変参考になる取組みでした。公民館の役割というのは大きいと感じています。これが学校などとどのように連携して輪を広げていけるのかというのが次の課題と感じました。
議長	公民館は、公民館運営審議会がなくなり、今は教育委員会の主管だが、公民館の位置付けや現状について、学校とのつながりも含めて再度見ていかないといけない。実際に市民と一番身近に接しているのが公民館であったり図書館であったりするの、その場で如何に活動していくのかという事を分科会で聞いた。川西において、今回の生涯学習計画の部分でもそうですが、公民館を含めた社会教育施設の充実という事については、力を入れないといけない。それでは、(3)阪神北地区社会教育委員協議会第3回理事会について、事務局より報告をお願いします。
事務局	(3)阪神北地区社会教育委員協議会第3回理事会について 日時：平成26年10月22日 議題：第2回研修会について 講師による講座形式の研修会を2月に検討しており、講師については、数名の候補を示し、調整については事務局に一任されました
議長	次に報告事項(4)各協議会の報告について、私の方から学校支援地域本部第2回会議について、かぼちゃ教室で本年度の学校支援地域本部の事業の経過報告がありました。学校長の方からは、学校支援地域本部への依頼の部分と今抱えている問題点、川西がこれからやっていかなければならない部分についてなど現場を中心にした報告がありました。またコーディネーターの方からは、学校によって地域差があるなどの現状報告がありました。それでは、報告事項は以上で終わり、次に4の議題に入ります。第2次生涯学習計画について、今日で3回目の論議になりますが、改めて資料を見られて感じられている部分、気になる部分がありましたらお願いします。
E委員	第1章の最初の出だしから少し文章のつながりがおかしいのではと思われる所がある。他にも文章のつながりがおかしいと思われる所が何か所か出てきます。最初の趣旨の所、「そして、未曾有の災害をもたらした東日本大震災を求められるさらなる安全対策など」

事務局	<p>というのは、少し文章としてはおかしいのではないのでしょうか。</p> <p>そこは“機に”というのが、抜けており、そこは訂正させて頂いております。</p>
E委員	<p>その下の「(計画)策定の経緯」ですが、3行目に「すべての市民が持つ学ぶこと、学びたいことというニーズへの的確な対応を図り、市民が自ら生きる意欲」というのを書いてあるが、「主体的に学び」という言葉を入れると新学習指導要領にある趣旨に合うのではないかということで「主体的に学び自ら生きる意欲を培える」としたら良いのではないかなと思います。それから3頁の7行目の終わり「これらの“あい”が絆を生む礎となるものとし、人やまちの営みの中で育まれていくことで、大きな“愛”すなわち市民の“幸せ”への実現に向い&lt;かわにし幸せものがたり&gt;として、様々なまちの担い手のコミュニケーションツールとして共有しています。」と、この文章は何が主語になっているのか。それから6頁の『安全・安心への信頼の揺らぎ』の1行目「阪神・淡路大震災や東日本大震災より、良い社会の発展に寄与するため風水害・地震などの災害による不安を改めて強く感じさせることになり」、この「良い社会の発展に寄与するため」という言葉がなぜここに挟まっているのかなというのがあるのですが、これは大事な言葉なので入れられたのか、ここに必要なのか、私は抜いた方が良いのではないかなと思ったりするのですが、ご検討下さい。それからその下の『環境との共生』の中で、「生物多様性」という言葉には脚注が必要ではないか思います。『国際化の進展』については、少し文章がだらだらとつながり、長すぎるのではないかなという気がします。それから、『家庭や地域の教育力の低下』の最後3行目の所、「今後においても、孤立する保護者や子育てに関心が低い保護者などを含めたすべての保護者を対象とする家庭教育支援の取組みを社会全体で進めて行くことが求められています。」について、色々な事件が起こり、ニュースに連日の様に虐待が報じられるに当たり、要保護児童への適切な対応策というか、その様な言葉もここに入れば良いのではないかと思う。</p>
議長	<p>私の方からは、第2章の課題の所の『安全・安心への信頼の揺らぎ』も大事ですが、8頁の『家庭や地域の教育力の低下』の問題はもっと上位の所に持ってこないといけない課題かなという感じがしました。人権の部分なども、家庭の問題、地域の問題、特に青少年の居場所の問題につながって来るので、もう少しはっきり強く打ち出した方が良いのではないかと思います。教育委員会、あるいは子ども関係の部署だけではなく課題というのは、この計画の中にはっきりともう少し強く打ち出さなければいけないという様に思います。</p>
D委員	<p>生涯教育というのは成人の大学とかそういう所に意識がいきますが、生涯教育のスタートは赤ちゃんや乳幼児期からなので、子育て支援の部分をもう少し力を入れて頂きたい。</p>
C委員	<p>専門の自分達は分かっているが、他の人にはよく理解できないという所にはコメントを入れていただいたので、その辺は非常に分りやすくなったという気はします。あと文章については、言い出したら個人個人できりがないので、今、E委員がおっしゃった様な部分以外を変えて行くのは難しいと思います。</p>

# 審 議 経 過

NO. 4

E 委員	<p>次の3章の推進の方針の12頁で、イの 家庭教育・子育ての支援 の所です。「相談に迅速かつ的確に対応できるように、母子保健部門、教育部門、児童福祉部門、民間団体等の関係機関とより一層切れ目のない連携を図ります。」とありますが、これは全くその通りで異論はありません。ただ、「連携を図ります」という言葉は、大変大雑把なので、「連携を図り問題解決に向けたリーダー及び組織作りをします。」とした方が良いのではないかと思います。要は公的機関の中に、この件について中心に動く人がいて、それをサポートする機関と共に人と組織が動いていくということがない。前に進まないのは「連携」で止めているからだと思います。13頁の口 . 生涯学習の基礎づくりと学校教育の充実 の中に、“確かな学力を育む教育の充実”という所があり、これは教育の分野の中核を成す部分だだと思います。その中でも特に「実態を把握・分析し、その課題解決に向けた改善方法について、川西市基礎学力向上検討委員会において、その成果と課題を検証します。」は、そのままで良いのですが、これは市の方が全小中学校をまとめて、川西市としての学力の状況を判断されるという様なことだろうと思いますが、推進をするためには学校単位で課題分析をして、可能な限りの情報公開をしながら地域と共に学力向上を図るという様な姿勢が大事だと思います。</p>
議長	<p>13頁の「川西市基礎学力向上検討委員会」というこの組織は、文言としては公的に載ってよい委員会ですか。</p>
事務局	<p>入れて頂いて結構です。</p>
議長	<p>わかりました。他の委員さんはどうですか。</p>
F 委員	<p>子どもの教育、家庭と地域の教育の部分の問題については大きく取り上げて頂きたいという議長の考え方にはすごく賛同した。</p>
議長	<p>パブリックコメントも子育ての部分で色々意見は出て来るのではないかと感じます。もう1点は、26頁の 推進組織の整備・充実 なのですが、組織の整備について、どんな形なのかという事が全く頭に浮かばなかった。組織改定をされるようですが、特にこの組織面の所では期待をしております。最後の「教育委員、社会教育委員の会での指導」この文言は書かない方が良い。教育委員は教育委員会ですので、この文言の入れ方は少し違和感がある。</p>
H 委員	<p>さきほど家庭、地域教育の低下というのがありましたが、それをどういうふうに高めていくかという事は必要かと思う。学校も2学期は週末は毎週のように学校行事や地域の行事があり、そういうのを見ていると、やはり集まる機会を持つと皆さんが活性化するというのは非常に感じます。そういう地域の行事というのは、社会教育に大変貢献していると感じます。だから地域の行事などを活性化しようと思っている方もおられるだろうし、家庭の方でも学校教育とか色々な地域の行事とかに何とか貢献できないだろうかというふうに考えておられる方も非常に多いと思います。「低下」というよりもそういうふうと考えておられる方や家庭や地域の教育力を活用していくという面も視点に入れたらという事を思いました。</p>

# 審 議 経 過

NO.5

議長	<p>8頁の「低下」という言葉ですが、変化と課題という所の位置付けですからこの言葉を使われたのだとその様な認識をしています。</p>
C委員	<p>一番肝心な部分をさっと流してある。例えば9頁などでも最後の所に「地域社会で家庭教育を支援していくために、地域の教育力の向上を図っていくことが重要」となっていますが、だからどうするのかということがない。10頁の下から8行目くらいの所「公民館における川西まちづくり講座や高齢者大学事業の実施、文化財講座、ハイキング、音楽や舞台芸術鑑賞、生涯学習短期大学の生きがい学習塾の開講等を実施して」これは良かった。実施していきますですからいいのですけども。</p>
議長	<p>10頁は1次の総括ですので。</p>
C委員	<p>例えば18頁の下から6行目「市民が生活に潤いと生きがいを感じられるような社会の創造に向けて、学習機会の提供を行なっていきます。」と書いてあるように「何かしていきます。」という様な事が各所に見られるが、どのように実施するのかということになると、すべて引っ掛かってくる。</p>
議長	<p>計画とは、そういうものだと思いますが。</p>
E委員	<p>柱ですから。枝葉は各部門で考える。</p>
C委員	<p>そこが本当にできるのか。</p>
議長	<p>10年間でできる様にするには目標がない事にはできませんので。予算面についてはここでは論じられていませんが、その部分については担当の方でこれから検討され、具体的に何をするのかという形の部分につながって来ると思うのですが。</p>
C委員	<p>あと何年かしたら、何をしたのかと、チェックをしていかないといけない訳ですからね。</p>
議長	<p>第1次の計画の中身もよくできている部分もあれば、まだだなあという部分もあります。この10年の間に担当所管も教育委員会であったり、市長部局になったり、行政は、組織編成を変える事によって何かメッセージを出されているのですが、これは市民から見たらどうなのかなという部分が個人的には思う部分がある。くどくなりますが、私は青少年の居場所の部分をごどこかに入れて欲しいというのがあります。それと公民館活動、生涯学習センターも含めての支援について、例えば市民参加型の公民館というか、講座企画なども市民の参画という部分をぜひ打ち立てる必要があるのではないかと感じています。それと、児童館の位置付けというのを、どこかに入れることを検討して頂けたらという意見を述べておきたいと思います。I委員いかがですか。</p>
I委員	<p>もうこの計画で充分だと思います。生涯学習という事で学校教育の中では子ども達が生</p>

# 審 議 経 過

NO. 6

議長	<p>涯学び続けられる様な動機づけの部分をしっかり付けて行かなければと思っています。学び続けられる子ども達の心の動機づけという部分を単に学力による数値だけを上げるという部分ではなく、道徳や「先輩に学ぶ」であるとか、あるいは地域の方を呼んで活躍している人を見て、子ども達が「はっ」と思う様な部分を学校の中ではしっかりやっていかなければと思っています。学校指導要領も今までは個に応じた指導というのをやっていましたが、次は個と個をつなぐ指導という言葉が出て来ている様に共に助け合うという部分を子ども達の中にしっかりと学校教育の中で入れていく事が将来の生涯学習につながるのではないかという感想です。</p> <p>16頁、ホ. 青少年の健全育成に関する教育環境の整備・充実 の、“青少年育成事業の推進”について、警察や青少年補導委員会という監視的な部分だけではなく、ケアや相談などの関わりの部分も市として大切だと思うので、ぜひ16頁の所にそういう項目を入れて頂けたらと思います。</p>
B委員	<p>25頁の「文化会館については建て替えを予定しています。」ですが、この計画は10年間使われますが、いつ現在というのか作成時現在とか文言を入れられるのですか。その様なものはいいですか。</p>
C委員	<p>中央公民館、文化会館がなくなると聞かされている訳ですが、それに代わるべきものがどういう形のものかというのが入っていない。それらがなくなるという事は公民館活動ではものすごく大きい事です。建て替えることだけが情報として流れてしまっているが、この活用はものすごく大事なことだと思うのですがどうなのですか。</p>
F委員	<p>具体案があるから建て替えに入るのですよね。ここへ書くのであれば具体的な事があるから建て替えを予定しているのではないかというふうに取りますよね。</p>
事務局	<p>今の川西中央北地区の再開発の中でキセラ川西に関して、2棟できる建物のうち、1棟が文化会館、もう1棟が福祉施設とか中央公民館機能に類した様な建物ができます。ただ、どう機能するのかという事につきましてはまだ総面積くらいではっきりできていません。今、中央北地区の担当の方で青写真を描きながら本当に市民の方に活用を得る様な形で進めている所でございます。</p>
C委員	<p>今、中央公民館というのは、すごく活用されている訳で、その意見集約とかがなされて、新たに中央北地区に建つ。建つ建物が今まで通り活用できるのかどうかとか、そういう話し合いの場や検討会が立ち上がっているのですか。</p>
事務局	<p>文化会館の方の登録グループにつきましては観光の部署でアンケート調査をしたり、旧の生涯学習センターの方でも、アステ市民プラザの方へというふうな事を前提に考えているのか、地区公民館に場所移すのか、というふうな事での意向調査、また意見を聞かせて頂くという事に取り組んでいます。ただ、中央公民館の方は先ほど申しました様に具現化した形が見えておりませんので、今回につきましては、まだしておりませんが、実際直面している文化会館と旧生涯学習センターにつきましてはアンケート調査を実施している次</p>

# 審 議 経 過

NO.7

	<p>第でございます。</p>
C委員	<p>公民館の方が大事だと思う。使っているグループの会長などは、意見も何も聞いてもらっていないという感じみたいである。その辺をうまく活かさないと、中央公民館がなくなって今までどおり使われない様な事になると、これは大変な問題ですから、そのあたりをお願いします。</p>
D委員	<p>今、アステ市民プラザの中のプレイルームに関わっており、なぜ、あの小さなスペースになったのかというのをすごく疑問に思いますし、利用される方々からも小さくて中途半端だという声を聞いています。キセラの方にもまたプレイルームができるという話を聞いていますが、先ほど言われたように利用者の声や関わっている方の声を聞いて作っていただきたい。それと組織の整備をいわれている26頁の所で、大きな組織での横のつながりというのはなかなか難しいのかも知れませんが、そこがつながっていかないと、ひとつひとつの所がしっかりしていても、次に進んでいかないのではないかと思うので、そこを本当にしっかりする様に考えて頂けたらと思います。</p>
議長	<p>そうしますと時間が来ましたので、最後に何かご意見ご質問はありませんか。</p>
E委員	<p>キセラ川西は、使い勝手が良いことも含めて、市民のための本当の実りのある、役立つ、つながりができるそんな施設にして頂きたい。あわせて文化会館的な機能は、「川西らしさ」を前面に打ち出して他市の人も、「川西はこういう事やっているのだなあ。」とわかる、そういう機能的な、そして魅力のある市民会館作りをし、市づくり、文化発信の場にキセラ川西をして頂けたらと思います。それから国の方は、今まで地域で学校支援という意味で「地域ぐるみ」というのがキーワードでした。中教審の方でも「チーム学校」でしたか、予算を付けて色々な専門的分野の人が学校に関わり、学校をよくしていこうという様な事が論議されようとしていると思います。他からの風を学校に吹かせて、それぞれ特色のある学校づくりをしていくという事が大事だと思っていますので、その辺りのことも含めて、この生涯学習計画の中で立てられた事が学校教育の中でも具体的に良い様な形で反映させて頂けたらと思っています。</p>
事務局	<p>キセラ川西については、30年4月を目標に体制を組みながら動いております。組織の方に関しては、次年度、こども・家庭部が教育委員会事務局に入り、それを整備して体制を組めたらという事で今進めている所です。子育てや就学前教育に関しましても公立、私立問わずに、横のつながりなどの関係を作っていきながら進めていく事は本当に大事だと思っています。今日はたくさんご意見を頂き、その中で特に子育てについてや、ニート、引きこもりも含めた子ども達の対応もしっかりと進めて行きたいと思っています。過去10年間の取り組みを踏まえて、充実させる事、それから継続していく事、新しい企画や内容も含めて具体的にそれぞれの部署で、進めて参りたいと思っています。</p>
B委員	<p>他市の人も利用できる様な、利用したいと思う様なキセラ川西、または文化会館にして頂きたいと思います。</p>



# 審 議 経 過

NO. 8

C委員	<p>キセラにこだわりますが、準備委員会とかができているのですか。</p>
事務局	<p>中央北整備部の方でそこを中心に調整している大きなプロジェクトです。</p>
C委員	<p>これから公民館活動がものすごく大事だと言っている時に、中央公民館がなくなるという話になり、巷では心配している。中央公民館が建て替えという事は間違いありませんね。</p>
事務局	<p>平成30年度からキセラ川西の方に中央公民館が移りますという説明をさせて頂いています。今年度から組織的にも中央公民館が統括公民館という位置付けから地区公民館になり、地区公民館の面積でもって他館の面積と勘案して、キセラの方にそういう面積で入ります。他に福祉とか色々なところも入りますが、その中で中央公民館の機能果たしながら将来的には横にあります文化会館機能を活用して、今ある中央公民館の機能を今後も継続したいという思いです。グループの説明会とかでは、キセラ川西の説明をした上でそちらの方での中央公民館機能のことや、それと文化会館の新たなホールの建設というふうな事も含めて説明させて頂いている所でございます。</p>
C委員	<p>了解しました。</p>
議長	<p>私個人的には今回の生涯学習計画は非常によくできているという思いを持っています。特に川西の自然や環境、川西の良さの部分も含めて、学校教育も市独自でやっておられる部分がありますので、これを根付かせていくことは、川西の売りになりますし、若者を引き寄せる町になるのではないかなと思います。それでは、今日でこれを中心にした論議は終わり、後、事務局の方でよろしく願います。</p>
事務局	<p>例年実施しております社会教育委員と教育委員との意見交換会に開催について、現在平成27年1月22日(木)午後、教育委員会終了後の開催で調整をいたしております。会議場所につきましては、市役所4階「庁議室」を予定しております。</p> <p>なお、詳細が決まりましたら、後日文書にてご連絡いたしますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>また、次回開催につきましては、平成27年2月25日(水)ここ202会議室で予定しております。</p>
議長	<p>これもちまして第5回の委員の会を終わらせて頂きます。</p> <p style="text-align: center;">—— 閉会 ——</p>

審 議 經 過

NO. 9

--	--

審 議 經 過

NO . 10

--	--

審 議 經 過

NO. 11

--	--

審 議 經 過

NO. 12

--	--

審 議 經 過

NO . 13

--	--

審 議 經 過

NO. 14

--	--

審 議 經 過

NO . 15

--	--